



下呂市 議会だより

GERO CITY
assembly

75

令和5年2月1日



【令和5年下呂市消防出初式／下呂市消防団萩原方面隊市中行進】

令和5年1月8日、下呂交流会館において、消防関係者約230名が出席して令和5年下呂市消防出初式が執り行われました。式典では、永年勤続表彰や市長式辞、出席された来賓より祝辞が述べられ、新年を迎え、改めて市民の生命と財産を守る消防団員・消防職員・消防関係者の防災意識の高揚が図られました。引き続き、下呂市消防団萩原方面隊の年頭行事が執り行われ、萩原南中学校を出発地として消防団員および消防車両による市中行進が行われました。

- 12月定例会の報告(審議結果、委員会報告) (P 2~P 5)
- 一般質問で13人が市政を問う (P 6~P12)
- 委員会開催報告、常任委員会管外視察報告 (P12~P13)
- 市民と議会との意見交換会、3月定例会日程、編集後記 (P14)

12月定例会の報告

11月30日から12月21日までの22日間において、令和4年第6回下呂市議会定例会を開催しました。初日には、コロナ・原油高・物価高対策としての住民税非課税世帯等を対象とした電気・ガス・食品品等価格高騰緊急支援給付金や子育て世帯負担軽減給付金に係る補正予算の専決処分の承認、人事院勧告に準ずる条例改正案件3件および補正予算などを可決しました。

また、最終日には、指定管理者の指定案件3件、条例制定改廃案件19件、コロナ・物価高騰対策（市民生活・社会経済活動の回復支援、感染症緊急対策事業）に係る補正予算、電気料・燃料等の高騰による公共施設の光熱費および指定管理料の補正予算などを可決しました。

上程議案と審議結果

各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。
（右のQRコードを読み取るとホームページが閲覧できます）



○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認について（令和4年度下呂市一般会計補正予算（第10号））	—	承認（全会一致）
財産の取得について	—	可決 （全会一致）
下呂市職員の給与に関する条例及び下呂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	—	
下呂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	—	
下呂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	—	
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第11号）	—	
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	—	
令和4年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）	—	
令和4年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）	—	
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第3号）	—	
下呂市飛騨川温泉しみずの湯の指定管理者の指定について	総務	
下呂市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市職員の降給に関する条例について	総務	
下呂市職員の懲戒の方法及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市水道事業等職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
公益的法人等への下呂市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
下呂市職員の再任用に関する条例を廃止する条例について	総務	
下呂市市営住宅条例等の一部を改正する条例について	総務	
令和4年度下呂市下水道事業会計への繰出について	総務	
財産の取得について	産経	
下呂市濁河温泉市営露天風呂の指定管理者の指定について	産経	
下呂市湯けむり広場条例の一部を改正する条例について	産経	
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第12号）	予算	
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）	予算	
令和4年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第4号）	予算	
令和4年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）	予算	
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第4号）	予算	
令和4年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第2号）	予算	
令和4年度下呂市水道事業会計補正予算（第3号）	予算	
令和4年度下呂市下水道事業会計補正予算（第1号）	予算	
令和4年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第3号）	予算	
令和4年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第2号）	予算	
令和4年度下呂市下水道事業会計補正予算（第2号）	—	

12月定例会の議案審議の詳細

議第95号

【全会一致で可決】

市道の路線認定について

(市長提出議案:産業経済常任委員会審査付託)

- 県道の道路改良に伴い県から移譲される部分を市道認定するもの
- 路線名:中原東35号線 幅員3.2m 延長296.9m
- 下呂市火打字境平1237番5地先から同1236番8地先まで



議第114号

【全会一致で可決】

下呂市飛騨小坂ふれあいの森条例の一部を改正する条例について

(市長提出議案:産業経済常任委員会審査付託)

- 物価高騰下でも事業継続していけるよう料金改定を行い、経営改善を行うため改正するもの
- パンガロー、調理棟、管理棟、シャワーの利用料金、施設内出店料の上限額を引き上げる



議第130号

【全会一致で可決】

令和4年度下呂市水道事業会計補正予算(第4号)

(市長提出議案:最終日追加工程・委員会付託なし)

- 釜ヶ野簡易水道釜ヶ野浄水場(萩原町西上田)における「フッ素およびその化合物」の数値が水道水質基準値に迫っているため、同簡易水道のもう一つの水源である上上田浄水場の水を釜ヶ野給水区域へ給水できるようにするため



議第99号

【全会一致で可決】

下呂市デイサービスセンターの指定管理者の指定について
(市長提出議案:総務教育民生常任委員会審査付託)

- 施設名称:やすらぎセンター四美
- 指定管理者となる団体:社会福祉法人下呂市社会福祉協議会
- 指定期間:令和5年4月1日から令和8年3月31日まで(3年)



議第115号

【全会一致で可決】

下呂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について
(市長提出議案:総務教育民生常任委員会審査付託)

- 0歳から高校生世代まで切れ目のない医療費助成を行い、安心して子育てができる環境を整えるため改正するもの
- 子どもの福祉医療費対象年齢を15歳から18歳に引き上げる

議第117号

【全会一致で可決】

下呂市市営駐車場条例の一部を改正する条例について
(市長提出議案:産業経済常任委員会審査付託)

- 幸の瀬湯けむり広場(旧下呂温泉病院本館棟跡地)を臨時有料市営駐車場として整備するに当たり、市営駐車場条例に定めると共に、近隣の民間駐車場の料金との均衡を図るため、下呂温泉街にある市営駐車場の料金区分と金額を変更するため改正するもの
- 幸の瀬駐車場を追加し、下呂温泉駐車場、阿多野駐車場の料金を引き上げる



議第118号

【全会一致で可決】

下呂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について

(市長提出議案:産業経済常任委員会審査付託)

- 家庭系可燃ごみおよび資源ごみ(ペットボトル)の排出および収集方法を変更し、ごみ処理手数料を無料とするため改正するもの

★QRコードから12月定例会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「Youtube」にて視聴できます。

議案審議の詳細
令和4年11月30日
(定例会初日)



議案審議の詳細
令和4年12月21日
(定例会最終日)



総務教育民生 常任委員会

12月15日、定例会初日に付託された18議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市飛騨川温泉しみずの湯の指定管理者の指定について》

※飛騨川温泉しみずの湯の指定管理者として、株式会社ホリスティック南飛騨を指定するもの
Q 物価高等の現状も加味した指定管理料の検討は。



飛騨川温泉 しみずの湯

A コロナ禍や原油価格高騰など、この先の見通しが立たず、社会情勢に左右されることを踏まえ、指定管理期間を2年とし、運営收支の状況を注視していきま

す。また、温泉を活用した健康づくりの場として多くの方に利用いただき、譲渡民営化できるような経営状態になることを市としても目指して努めていきます。

《下呂市市営住宅条例等の一部を改正する条例について》

※社会状況の変化により連帯保証人の確保が困難になっていることから、連帯保証人を確保できず入居できないといった事態を生じさせないよう、入居手続に関して改正するもの
Q 連帯保証人を削除し、緊急連絡先と身元引受人を記入するように改正されるが、身元引受人は親族でなくてもよいのか、また家賃が滞納した場合の回収は。

A 過去5年間に債務を連帯保証人に請求した事例はありません。今後は、債務が発生した場合、入居者本人への請求のみとなります。制約等により市営住宅への入居が困難にならないよう、救済する形で柔軟に対応していきます。

《下呂市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について》

※0歳から高校生世代まで切れ目のない医療費助成を行い、安心して子育てができる環境を整えるため、子どもの福祉医療費対象年齢を改正するもの
Q 事業施行に至った経緯と財源措置は。

す。また、温泉を活用した健康づくりの場として多くの方に利用いただき、譲渡民営化できるような経営状態になることを市としても目指して努めていきます。

A 市長公約であり、下呂市で安心して子育てをしていただくためにも医療費は大事な部分であることから、財源はしっかりと確保し、取り組んでいきます。

委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYou Tubeにて視聴できます。



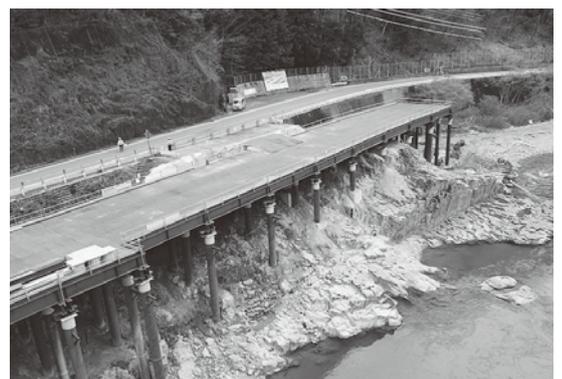
産業経済常任委員会

12月16日、定例会初日に付託された7議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《財産の取得について》

※国道41号門原防災事業のトンネル掘削に伴う残土処分場用地として土地を取得するもの
Q 取得する用地で現在の予定残土を処分することはできるか。

A 2つのトンネルを掘り、19万立方メートルの残土発生が見込まれています。今回取得予定の用地には、最大25万立方メートルから30万立方メートル位の埋め立てが可能ですので、予定残土全てを受け入れることができます。



国道41号門原防災事業の工事現場

《下呂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について》

※家庭系可燃ごみおよび資源ごみ（ペットボトル）の排出・収集方法を変更し、ごみ処理手数料を無料とするため条例を改正するもの
Q ペットボトルをつぶして出すことで廃棄の回数が今までより少なくなることから、つぶしたペットボトルを処理することができない圧縮機を導入することは検討されていないか。

A 現在の圧縮機は導入後24年が経過しており、つぶさずに出されたペットボトルをリサイクル製品化しています。つぶして出された方が袋にたくさん入ることから、つぶしたもので製品化できる機械が

有効と考えます。しばらくは現在の機械を使用しますが、今後の施設更新に当たっては、つぶしたものでも製品化できる機械の選定を検討したいと考えています。

Q 肥料代の高騰や生ごみの排出量削減として、コンポストでの堆肥化について市独自の発想で推進していく考えは。

A 現在はダンボールを使用したコンポストでの堆肥化を普及しています。生ごみの排出総量を抑制することにつながることから、コンポストの設置について、補助金を創設するなど、市民に推奨していくことも検討します。

案件動向を共有するサービス You Tubeにて視聴できます。



予算特別委員会

12月19日、定例会初日に付託された10議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《電気料・燃料費等高騰対策》

※公の施設の適正維持のため、高

騰を続ける電気料・燃料費等に対する市有施設の光熱費の増額、および指定管理施設の燃料費高騰に対応した指定管理料の増額に係る補正

Q 電気料・燃料費等の高騰は、一般家庭にも大きな影響が表れている。市民生活を守る相談窓口を設置し、しっかりと状況把握をして必要な対応をされたい。また、高齢者等なかなか声を大にして言えない立場の人も多い。それに気が付いてあげられるよう十分配慮されたい。

A 振興事務所を窓口とし、市側から出向しているいろいろな話を吸い上げる体制を整えます。実態調査も含めて、しっかりと相談を受け、市としてできる部分については、個々に具体的な対応を行っていきたいと考えます。

Q 電気料・燃料費等高騰への対応策として、施設利用料の引き上げによる利用者負担の見直しの方向性は検討されているのか。

A 現時点では公共料金をすくなく上げるという考えはありません。また、施設によって料金を値上げできる場所もあれば、値上げが困難な場所もあります。その点を踏まえて、指定管理者に対しては、十分な協議を行った上で臨時的な指定管理料の支出といった対応を今回とらせていただきますし

た。**Q** 公共施設以外への電気料・燃料費等の高騰に対する支援の考えは。

A 岐阜県が高齢者施設等に対する光熱費高騰対策支援制度を設けて支援金交付が行われますので、その情報提供を行っていきます。併せて、国県にしっかりと必要な要望を進めていきたいと考えます。

《市立金山病院の経営改善》

※市立金山病院における入院・外来収益について、上半期実績を踏まえた減収見込による減額、および今年度末における資金不足見込分について、不採算地区病院経費として、一般会計から繰入れを行うための増額補正

Q かなり大きな減収による減額補正予算になっているが、今年度内における減収に係る改善策はあるのか。

A 今年度末までの大きな改善策は現在持ち合わせていませんが、病床の稼働率を高めるため、4階の地域包括ケア病床を3階に移したり、入院基本料等の見直しをしたり、少しでも収入の確保ができないか改善努力を行っています。また、地域医療といった課題をデジタル技術の活用により解決していくこととする取り組みが今始まっており、その中で県と市、そして

金山病院と下呂温泉病院の4者協議が進められます。県も本腰を入れておられるので、4者の連携強化も図りながら、経営改善を目指していききたいと考えます。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

11月30日、特別委員会を開催し、市長並びに関係部局から説明を受けました。

感染状況の報告では、10月中旬以降、飛騨圏域では、人口10万人当たりの新規陽性者数が900人を超える高水準となっており、高齢者や子どもの陽性者が増加傾向であり、ワクチン接種率については、5歳から11歳の接種率が23.65%と低い水準であるとの報告を受けました。

また、こども園における対応として、クラス閉鎖や休園の際、園児1人当たり5千円を支給する臨時休園支援金が市内園児705人中466人に支給されたとの報告がありました。

年末年始を迎えるに当たって、「会いたい人にも会えない」状況を招くことがないよう、基本的な感染防止対策の徹底を市民の皆さまに呼び掛けることを確認しました。

一般質問 13人が市政を問う

各議員名下のQRコードから一般質問の映像を動画共有サービス「Youtube」にて視聴できます。



1 番 議員 荒見昌己



移住定住希望者に向けた公営住宅の整備について

① 住居斡旋の現状と今後の取り組みは。

◆ 地域振興部長

下呂市空き家等紹介制度を設け、86物件が登録されている。売却・賃貸借の成約は57件。今後は登録物件、賃借物件を増やすための調査・検討を進めたい。

② 中間管理住宅の設置による空き家活用の取り組みの考えは。

◆ まちづくり推進部長

この事業を活用したことはないが、市内の空き家対策として有効であり、公営住宅のストック増にもつながる事業と考える。

③ 特定公共賃貸住宅・地域優良賃貸住宅の戸数と今後の整備方針は。

◆ まちづくり推進部長

令和4年11月8日時点で特定公共賃貸住宅は63戸、地域優良賃貸住宅は6戸。

現時点で公営住宅等の整備計画はないが、市民ニーズをしっかりと捉え、整備の必要性を検討していく。

リニア中央幹線岐阜県駅開業に伴う将来ビジョンについて

① 岐阜県リニア中央幹線活用戦略を踏まえた下呂市の将来ビジョンは。

◆ まちづくり推進部長

この活用戦略を踏まえ、旧下呂温泉病院跡地活用検討委員会の中でも、公共交通の拠点となるバスターミナル整備の必要性について、多数の意見をいただいている。

② 濃飛横断自動車道全区間早期事業化は不可欠であるが、市内のルート選定等進捗状況は。

◆ 建設部長

下呂市と中津川市を結ぶ区間など約50キロメートルについては、今のところ具体的なルート案は示されていない。

③ 中津川市との経済連携をどのように考えているか。また、「東美濃ふるさと街道」沿線市町村との協議会設置の考えは。

◆ 観光商工部長

平成22年に設立した「広域観光振興協議会」で共同して観光宣伝を行っており、今後も観光商工業者と共に、さらなる機運の醸成が図れるような事業を進めていく。

◆ まちづくり推進部長

沿線市町村との協議会の設置については、岐阜県や東濃5市の意向も踏まえながら検討すべきものと考えている。



4 番 議員 森 哲士



公共看板の今後の整備方針について

① 経年劣化した公共看板の修繕・更新等に係る市の対応方針は。

◆ 建設部長

公共看板の景観に配慮したデザインの統一などには至っていない。

今後も地域や沿線の統一性に配慮した案内サインの検討など、景観整備を推進していく。

② 統一デザイン等による歓迎看板およびカントリーサイン新設の考えは。

◆ まちづくり推進部長

現状について早急に把握し、公共施設等の案内看板等の整備を計画的に実施できるよう検討していく。

③ 観光協会や商工会等と連携したサイン整備の考えは。

◆ 観光商工部長

現在、連携したサイン整備の計画はない。

新たなカントリーサインについて、関係団体のご意見を伺いながら検討を進めていく。

地域おこし協力隊と集落支援員に求める役割と今後の活用方針等について

① これまでの活動実績と成果は。

◆ 地域振興部長

協力隊は、定住や起業に結びつき、任期終了後も地域との密接な関わりを持ち、大きな成果があると考えている。

支援員は、空き家調査や地域の交流イベントの開催、地域団体の自主運営支援を中心に集落点検等の取り組みを行っている。

② 新たな配置や存続について、地域の声が十分反映されているか。

◆ 地域振興部長

協力隊の配置は、地域バランス等も配慮して決定している。受入団体や地域の方々の理解があって配置できるものである。

支援員の配置には、課題も見えてきており、これまでの評価・総括を行い、配置のあり方を検討していきたい。

③ 配置や活動に対する国の財政支援措置は。

◆ 地域振興部長

配置にかかる経費は、特別交付税措置の対象経費となっている。

④ 任期終了後の定住率と住宅・就労等に係る定住支援は。

◆ 地域振興部長

これまで配置した協力隊は12名、うち任期満了は10名で全員が市内に定住し、8名が起業されている。補助制度のほか、地域と共に全面的に協力支援する姿勢で臨んでいる。



7 番
中島 ゆき子 議員



小中学校の施設の整備について

①小坂小学校長寿命化改良工事設計業務の詳細は。

◆教育委員会事務局長

建物の健全化、断熱対策、内装木質化、ICT化等を検討していく。

②電気料金の軽減に向けた照明器具LED化の進捗状況は。

◆教育委員会事務局長

長寿命化工事や改修工事に併せた整備を基本として進めている。既に調査業務を終了した小中学校の屋内運動場を順次整備する予定としている。

下呂の子どもたちの育成について

①令和5年度からの学校統合により、中原地区からの通学手段は。また、中原っ子クラブの今後は。

◆教育委員会事務局長

現在の使用車両に合わせて新たにスクールバス1台を委託して通学させる予定である。

◆地域振興部長

令和5年度は中原っ子クラブの開設を継続する方向で考え、以降

はスタッフや保護者等の意見も伺い検討したい。

②地域学校協働活動推進員の配置状況と活動内容は。

◆地域振興部長

12の学区に各1名と、中原・上原の放課後子ども教室の運営責任者各1名を委嘱し、配置している。地域、学校教育活動への支援や企画などで協力をいただいている。

③休日における部活動の地域移行に伴い、合同部活動に参加する生徒の移動手段は。

◆教育委員会事務局長

スクールバス、公共交通機関、保護者の送迎により、移動手段を確保できるよう努めていく。

④今年度、小中学校の卒業記念品贈呈を廃止した理由は。

◆教育委員会事務局長

教育費全体の予算を見直しする中で、品物を送ることはやめ、今までとは異なる形で卒業のお祝いの気持ちを届けていく考えである。

⑤市長が望む子どもの姿とは。

◆市長

「寛容と調和」を望む。人種、性別、言語、宗教、障がいの有無などの違いをお互いに認め合い、多様な考えを生かしながら、社会を前へ進める人になっていただきたい。



8 番 (公明党)
田中 副武 議員



親子や家族で安心して遊べる公園整備について

「安心して遊んで一日を過ごせる公園がほしい」といった声があり、子育て世代を中心に市民から議会に届いている。公園整備に係る進捗状況は。

◆まちづくり推進部長

令和4年度に子育て世代が希望する公園整備計画を立てて、令和5年度から具体的な公園整備に着手する予定としている。令和5年度は、飛騨川公園の整備を進めることとしており、子育て世代に一日を過ごしていただけるよう大型遊具の設置も検討している。
ディズレクシア(発達性読み書き障害)への理解と対応について
 ①小中学校において、ディズレクシアの疑いがある児童生徒の把握はされているのか。

◆教育委員会事務局長

小中学生で文字の読み書きに困り感を抱いている児童生徒は0.7%。実際に書字障がいという診断を受けている児童生徒は0.04%という状況である。

②早期発見のための取り組みが必要であるが、その手段は。

◆教育委員会事務局長

3歳児健診やこども園における園児の特性や困り感に合わせた支援体制によって早期に状況をつかむ仕組みがある。

さらに、小中学校教員による訪問支援により就学前からの状況把握に努め、専門的な知識を持ち合わせている専門家チーム派遣により子どもたちを観ている。

安心して出産・子育てができる環境整備について

国の第二次補正予算が成立し、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境が整った。交付金制度において、地方自治体の創意工夫が求められているがその考えは。

◆福祉部長

国によれば、創意工夫できる内容は、制度全般のほか、交付金の名称、面談の方法、面談時における配布物、子育て支援センターの支援につなげるなどが例示されている。

まずは現在配布している「子育て応援ブック」の改訂作業を進めている。

これまで以上に子育て支援事業や母子保健事業の連携・協力を強め、効果的な事業となるよう制度設計をしたいと考える。



6番 尾里集務議員



県立下呂温泉病院と市立金山病院の今後について

①下呂温泉病院における今後の医師確保に係る方針は。

◆市民保健部長

下呂市地域医療セミナーの開催、奨学金の支援、産婦人科医師の件費の一部補助や、医師確保に伴う医療機器整備の補助金等の財政支援を行っている。

②地域医療を支えるための県立下呂温泉病院と市立金山病院の機能分担と連携は。

◆市民保健部長

高次医療機関との連携・役割分担の強化、かかりつけ医と連携した地域密着医療の推進に取り組み、金山病院や市内医療機関との連携が図られている。金山病院との機能分担と連携については会合を予定している。

◆金山病院事務局長

外科医師派遣に関する協定を結び、整形外科手術の際に、執刀医を派遣いただいている。外来診療や入院における連携や、職種ごとの連携も進めている。

③近隣市の中核病院との連携は。

◆市民保健部長

高山赤十字病院への補助金交付など財政面での協力を行っている。飛騨圏域以外でも、高次救急や不足する専門医療について隣接する中核病院との連携が図られている。

東仙峡金山湖（岩屋ダム）周りの整備を

観光資源としてダム沿道景観など整備する考えは。

◆観光商工部長

周辺道路の路側は狭く急峻なため、大々的な景観整備を行うことは困難である。安全点検や沿道の草刈等の管理など、県や地域などの活動に市も協力していきたい。

森を育て活かす森林環境譲与税を活用した取り組みについて

①間伐推進等、森林整備関連事業の進捗状況は。

◆農林部理事

今年度、意向調査は5地区約740ヘクタールで実施中であり、来年度以降も毎年約200ヘクタールの間伐実施を目指している。

②下呂の森をはぐくむ人づくり事業の進捗状況は。

◆農林部理事

令和3年度に小中学校9校で延べ17回、649人、今年度は11月末時点で10校、こども園2園で延べ31回、916人を対象に実施するなど参加者は増加している。



13番 (日本共産党) 中島新吾議員



物価高から市民の暮らし しっかり支援を

物価高は今後も続くと考えられる。とりわけ子育て世帯の負担軽減の具体化を。

◆まちづくり推進部長

子育て世帯に対し、給付金に加え、放課後児童クラブの利用料金引き下げ、ひとり親家庭への児童福祉金の増額について検討している。

市民、事業関係者の意見を十分に聞き、今後の物価の推移等も見据えながら、引き続き必要な対策の検討を行っていく。

中小規模事業者の経営を支援して地域経済の立て直しを

経営はより深刻となっている。地域経済を担っている中小規模事業者を地域経済全体の問題として捉え、支援すること。

◆観光商工部長

支援金事業や補助事業、地元応援商品券の配布など、切れ目のない事業者支援を行ってきた。より多くの市内事業者が活用できるよう、今後さらに国や県、商工会等と連携し、情報発信や事業者と

のマッチングを図っていく。

地域で農業が続けられるために

肥料や資材・燃料、飼料等の高騰に対する今後の支援の具体化は。

提案してきた学校給食に多くの地元産農産物を使うことに対する考えと対策は。

◆農林部長

国の第二次補正予算でも物価高騰等の影響緩和対策が打ち出され、飛騨地域でも管内の現状把握や情報共有を必要とする必要の協議を行っている。

学校給食では、地元産の米の活用や調達方法などを研究しながら、生産者の声に耳を傾ける活動、各部署の横断的連携をさらに進めていく。

地域社会で人のつながりを継承していくために

高齢化と人口減少、農業生産力の低下の中、コロナ禍で集落・地区の行事などの継続が難しくなってきた。その実態に寄り添う市としての対応を。

◆地域振興部長

地域産業を振興するための地域づくりの仕組みを再構築する必要がある。

この仕組みづくりや仕組みを実行するに当たっては、地域住民の声を十分聞くことや地域内での話し合いが大切であり、それに合わせて必要な資料の収集や調査が必要と考えている。



14 番
中島達也 議員



家庭ごみの出し方の変更について

指定ごみ袋の価格高騰や入荷が不安定な状況にある等の事由により、ごみの出し方が試行期間を経て来年度より新方式に移行される。自治会、市民へ丁寧な周知と協力が大変重要と考えるが、移行に向けた進捗について伺う。

◆環境水道部長

9月下旬から5地域の自治会連合会において、令和5年度からの変更について説明を実施した。不燃ごみの変更は、市内5地域ごとに先行して実施するモデル地区を選定し、対象地区への説明会を延べ8回行った。その他の自治会も、実施可能な自治会から順次開始したいと考えている。

令和5年度の市政運営について

今年度、新型コロナウイルス感染症対策や災害復旧事業が継続され、また、まちづくり推進部・地域振興部の創設、デジタル課の立ち上げ等大幅な組織再編がされ

た。

市長任期最後となる新年度の新たな取り組みや主要施策について伺う。

①観光振興と旧下呂温泉病院跡地の整備について。

◆まちづくり推進部長

これまで3回の検討委員会を開催し、リハビリ棟跡地は、下呂温泉街全体で不足する駐車場とすることに賛成をいただき、基本設計業務を進めている。

本館棟跡地は、二次交通発着所などの機能を備えた交通拠点を目指す意見が多くあり、渋滞緩和や安全確保など、検討課題も多くあることから、時間をかけて他の活用方法なども含め、検討を続けていくことが必要と考えている。

②人口減少対策と移住・定住の取り組みについて。

◆地域振興部長

移住定住者支援制度として住宅の購入や改修に係る補助制度、空き家等紹介制度を設け、情報提供している。

下呂市のPRや交流人口増加の取り組みの強化も必要と考え、大学生らに短期間就業しながら下呂市を体験してもらうワーキングホリデーの開催や首都圏等で開催される移住セミナー等に参加し、PRに努めている。



3 番
飯塚英夫 議員



公衆電話の役割の見直しについて

災害時や大規模な通信障害時の活用など、時代の変化に順応した役割の見直しについて。

①公衆電話は災害時に優先的につながり、停電時にも使える。有事に備え、設置場所を周知徹底させる取り組みは。

◆総務部長

設置箇所はNTT西日本のホームページから確認ができ、自宅や勤務先、避難所から近くの公衆電話の設置場所を事前に確認していただきたい。

ハザードマップへの掲載も今後十分検討しながら取り組んでいきたい。

②通信障害などによりスマホや携帯電話などで通話ができない事態に備え、公衆電話になじみが薄い若年層へ使い方を周知徹底させる取り組みは。

◆総務部長

公益財団法人日本公衆電話会から小冊子および子ども向けのポケットブックの寄贈を受け、この中に災害時の公衆電話の有用性や

使用方法が記載されている。

市内児童生徒に配付し、公衆電話や災害用伝言ダイヤル171を啓発する予定であり、自宅に持ち帰り、家族で確認されるようお願いしたいと考えている。

愛犬を思い切り遊ばせられるドッグランについて

新型コロナウイルス感染症拡大で在宅時間が増え、ペット人気が高まっている。特に愛犬家から設置要望のあるドッグランについて、公園等既存施設の一部を利用して整備する計画はないか。

◆まちづくり推進部長

令和4年12月1日時点で市内の約1割の世帯で犬が飼われ、今後ペット環境に関する市への要望も増加することが予想される。

公園整備に向けた取り組みとして、現在は子育て世代が希望する意見を伺っており、これまでのところドッグランの設置を希望する意見は聞いていない。

次年度以降に、公園が持つ公共空間としての多様性を加味した検討を進めることとしており、ドッグランの設置も含め、幅広く市民の意見を伺っていきたい。

ドッグランの整備に関し、民間施設への影響やさまざまなリスクについても調査を行いながら、今後の検討としていきたい。



12番 (日本共産党)
吾郷孝枝議員



インボイス制度とシルバー人材センターについて

シルバー人材センターは、インボイス制度が導入されると、1セクター当たり平均年1500万円の消費税負担増が発生する。税負担の財源が確保できなければ、運営が危ぶまれる。高齢者の社会参加をも阻むインボイス制度に反対を。

◆福祉部長

全国シルバー人材センター事業協会から要望書もいただき、大変重要な課題と認識している。今後は、国や県の動向や他市の状況も踏まえ、シルバー人材センターの安定的な事業運営を可能とするための方策を検討していきたい。

地域包括ケアシステムの充実について

訪問看護、訪問介護などのニーズが高まり、介護サービスに地域格差が発生している。介護の担い手不足も深刻。地域包括ケアシステムのさらなる充実を求める。

◆福祉部長

引き続き地域の関係者と情報交

換を行い、令和6年度からの第9期介護保険事業計画においても地域包括ケアシステムの充実を掲げ、より一層力を入れていく。

子育ての安全、安心のために

子どもの安心・安全のための施策として、助産師による「産後ケア事業」の推進、チャイルドシートの貸し出し、自転車のヘルメット購入補助を進めるように。

◆市民保健部長

「産後ケア事業」と同様のサポートで市内の母乳相談施設で授乳ケアを受けた場合の費用助成制度がある。産後の母親からのニーズも踏まえて各種サービスが利用しやすい制度となるよう調整していきたい。

また、過去には寄付されたチャイルドシートの貸し出しを行っていたが、貸し出し件数が減少し、現在は実施していない。健診受診時におけるチャイルドシートの貸出制度の創設は、現段階では考えていない。

◆教育委員会事務局長

PTA加入傷害保険、家族の加入する傷害保険特約で自転車事故に関する保険も付いてくる場合もある。通学に限らず日常生活における最低限の安全確保や補償については自らの責任において対応していたらという観点から、現段階では支援は考えていない。



10番
伊藤厳悟議員



人口減少を前提とした持続可能なまちづくりについて

子どもが減り、働き手が減り、高齢者が増えていく状況を踏まえた持続可能なまちづくりに向けた対策について。

①生産年齢人口減少に係る対策について。

◆地域振興部長

移住定住に関わる支援制度等としては、住宅の新築や中古住宅の購入、また中古住宅の改修に係る経費の一部を補助する制度や家賃の一部を2年間補助する制度を設けている。また空き家等紹介制度も設け、空き家に係る情報を提供している。

現在、こうした支援制度の充実に向けて、既存制度の見直しや新たな支援制度等の検討のため、他自治体の取り組みやサポート体制について調査を進めている。

また、市内の事業所や建設業協会、森林組合、福祉団体等に、従業員確保の状況をお聞きすると共に、市の移住定住に係る支援・補助制度の紹介、従業員確保につな

がる支援制度等に関する意見交換をしている。

②各産業を支える労働力の確保対策について。

◆地域振興部長

事業所の維持・継承を含め地域経済を支える上でも、労働力不足は深刻な問題であると認識している。

今後の移住定住施策においては、労働力確保の視点を強く持つことも重要と考えており、庁内の関係部署の連携はもとより、官民一体となった取り組みも含め、移住定住施策の充実強化を進めていきたい。

◆観光商工部長

地元出身の学生がよりUターン就職を意識していただけるよう、来年3月に実施する下呂市合同企業説明会はオンライン開催とすると共に、東海・北陸方面の下呂市出身者が在籍する大学や専門学校などを訪問し、この企業説明会の開催を周知する。

今後は地元企業に、より働きやすい職場環境を整えていただき、多くの若者が地元企業に魅力を感じてもらえるよう、企業が進める働き方改革の支援を県とも連携しながら進めていきたいと考える。



5 番
田中喜登 議員



エコツーリズムとDMOを組み込んだ「EIDMO」を推進するため市の取り組みについて
①地域の伝統文化継承に対する補助制度の創設について。

◆教育委員会事務局長

現状の補助制度においては、文化財等に指定され、その価値が認められていることを根拠に補助金の交付を行っている。市文化財認定の手続きを経た上で、補助申請することをぜひ検討していただきたいと考える。

②下呂温泉合掌村の果たす役割について。

◆観光商工部長

芸妓、下呂の田の神祭り、地歌舞伎などの伝承や公開、祭りの場所としながら、エコツアーの資源としての活用と保全をする役割を担っているものと考えている。

市内の自然や文化資源を活用した体験型のプログラムづくりや、他のエコツアー実施者との連携などの取り組みを進めたい。

③今年度4月にオープンした観光交流センター「湯めぐり館」を拠点

点とした取り組みについて。

◆観光商工部長

市内の観光情報の発信拠点という位置付けであり、エコツーリズムの対象となる観光資源の情報も持っており、周遊を促す取り組みなどを行っている。

合併前旧5カ町村時代から続く他自治体との交流について

①姉妹都市提携等による他自治体との交流実績とその効果について。

◆地域振興部長

平成29年に宝達志水町からの訪問により、職員との交流会、視察をしている。平成30年からは下呂市からも宝達志水町を訪問し、イベントで特産品PRを行っている。

近年では、コロナ禍もあり、イベント参加はできていないが、下呂市長と宝達志水町長と面談を行っている。

②今後の姉妹都市等との関係構築、連携強化の方向性について。

◆地域振興部長

下呂市と関わりを持つ自治体との連携・交流を図ることは、今後の下呂市にとってさまざまなメリットがあると考えている。今後、コロナの終息等に伴い交流の機会を増やし、関係の構築、連携の強化に努めていきたい。



2 番
田口琢弥 議員



市内児童生徒の体力・運動能力について

①令和3年度の全国児童生徒体力・運動能力等調査の結果と下呂市の状況は。

◆教育長

市内の結果は、毎年、小中学校全学年男女ともに全国平均を上回っている。

小学校男子では上位の子と下位の子の二極化が見られ、中学校女子は全体的に低下傾向が見られた。

②調査結果を踏まえ、授業、授業外での取り組み、家庭へのアドバイスは。

◆教育長

小学校では個人縄跳び、異年齢の縦割りでの活動等、運動が苦手でも運動の楽しさを味わうことを大切に二極化の解消を図っている。

中学校では部活動、生徒会行事などで積極的に体力づくりに励んでいる。

家庭に向けては、長期休業に取組表を配付したり、コロナ禍には下呂ネットにてストレッチなどの動画配信を行った。

安全・安心・快適なまちづくりに向けた整備計画について

①令和5年度からのごみ搬出方法の大きな変更に伴うメリットとデメリットは。また、生ごみ処理機購入費助成制度を再開する考えは。

◆環境水道部長

燃えるごみの削減や不燃ごみ袋の焼却を回避でき、家計負担の軽減や二酸化炭素排出削減につながる。不燃ごみ収集用のかごの管理方法などご協力をいただき取り組んでいきたい。

生ごみ処理機購入費助成制度は、生ごみ削減のために必要な制度と感じており今後検討していく。

②市道の横断歩道等区画線が消えている箇所が多くある。今後の市道の整備計画は。

◆建設部長

点検結果に基づき、緊急性の高い箇所から補助事業により整備を実施し、今後も継続して対策していく。横断歩道や一時停止線は、下呂警察署交通課と情報を共有し対応いただいている。

③令和5年度に予定される飛騨川公園の整備計画の内容は。また、市内各所にある公園の整備計画は。

◆まちづくり推進部長

グラウンド・駐車場・トイレ整備、大型遊具設置、樹木伐採手入れ等を検討している。飛騨川公園以外の整備計画の策定には、時間を要することになる。



11番 一木良一議員



下呂温泉合掌村の運営について

①施設整備、植栽管理等の費用の推移と現状について。

◆観光商工部長

令和2年以降施設整備等の費用は大きく減額した。観光施設として見栄えも大事であり、今後は計画的に改修したい。

②魅力ある観光施設への今後の課題と展望について。

◆観光商工部長

計画的な施設の維持・補修、職員の資質向上、新たな魅力の創造が課題と考えている。

③集客アップのための取り組みについて。

◆観光商工部長

セールスプロモーション、旅行者への営業活動、宿泊施設への誘客活動を考えており、今後も計画的に取り組んでいく。

人口減少と移住定住および空き家、廃屋対策について

①移住定住人口増加のための取り組みと課題について。

◆地域振興部長

住宅の購入や改修に係る経費の補助制度を設けると共に、下呂市

のPRを図っている。下呂市の良さを知ってもらい、下呂市を好きになってもらうことが大切と考える。

②空き家活用と廃屋対策について。

◆建設部長

空き家情報のデータベース化や適切な管理の促進、管理不全な空き家の解消に取り組んでいる。

可燃、不燃ごみ排出方法の変更について

①新排出方法における市民への対応について。

◆環境水道部長

5地域の各自治会連合会とモデル地区となる地区で説明会を実施した。市民にご理解いただくことが不可欠と考える。

②新排出方法への移行スケジュールについて。

◆環境水道部長

令和5年4月1日から、燃えるごみ、ペットボトルを市販の透明袋に変更する。

不燃ごみは、令和5年1月以降にモデル地区にて実証と検証を行いながら、新方式に移行したい。

③費用対効果について。

◆環境水道部長

10種類のごみ袋を廃止することで、年間約6千7百万円の歳入減となるが、経費削減により年間約2千6百万円の歳出減を見込み、差額として年間約4千百万円の財源が新たに必要と試算している。

下呂駅周辺エリア等整備特別委員会

12月14日、特別委員会を開催し、市長並びに担当部局から状況報告を受けました。

《旧下呂温泉病院跡地の活用について》

※11月に開催された第3回旧下呂温泉病院跡地活用委員会での協議結果の報告

リハビリ棟跡地に計画する駐車場に係る基本設計案に対しては、植栽の配置などの意見は出たが、大きな反対意見はなく、原案のとおり進めていくこととなり、本館棟跡地活用計画においては、①集客施設、②交通拠点、③公園の各案についてそれぞれ課題を整理して意見を伺い、当面は臨時駐車場として活用しつつ、本格的な活用に向けて検討していくこととなったとの説明がありました。

委員からは、植栽木の選定や配置、管理について地元や関係団体と十分検討するよう意見がありました。

《(仮称)イベント広場の進捗状況について》

工事については、12月23日まで工期を延長し、11月末現在で約90%の進捗率であること、施設名称募集と選考方法等について説明がありました。

濃飛横断道・リニア特別委員会

12月14日、特別委員会を開催し、県への要望活動の内容や事業の進捗状況を市長並びに関係部局から報告を受けました。

要望活動については、郡上八幡(和良間(約17キロメートル)における一番の難所である堀越峠工区の国による権限代行での早期事業化、現在整備が進められている中津川工区の早期開通に向けた整備促進が主な内容との説明がありました。

また、下呂市から中津川市間は、塞の神峠(付知町)の整備、並松交差点改良など、現道改良が主要望であり、専用道路としての整備の考えは今の時点ではないとのことでありました。

今後も特別委員会を設置した意義や下呂市が高速道路網のエアーパーケットになっっていることを踏まえた委員会活動を進めていきます。



工事の進む中津川工区の様子

委員会管外視察

総務教育民生常任委員会

10月27日と28日において、人口減少・少子高齢化対策としての移住定住の促進と、地域公共交通をテーマに、長野県の飯田市、駒ヶ根市、下伊那郡阿智村、木曾郡木曾町を視察し、先進事例の調査を行いました。

《飯田市》

2027年リニア中央新幹線長野駅開業を見据えて「リニア将来ビジョン」を策定し、移住定住事業促進の強化を図るため、「結い(ゆい)ターン移住定住推進課」を配置し、専任職員4名のほか全課長が兼務となり庁内の横断的な体制により総合的な機動力を高め、事業を推進しています。

周辺自治体との広域的な連携の

強化や、外

部人材と地

域住民との

交流事業に

よる関係人

員創出の取

り組みにつ

いて説明を

受けました。



飯田市の議場の様子

《駒ヶ根市》

移住定住事業への積極的な取り組みで全国住みよさランキングでは常に上位をキープしている実績があり、特に30代から40代の若者の移住が増加しています。その背景には移住定住や企業誘致の促進のため私有地購入にキャッシュバックを設定するキャンペーンの取り組みや、移住定住に向けた活動の際に宿泊費の一部を補助する「お試し滞在事業」、移住希望者に長期間生活体験できる機会を提供する「こまがねリアル体験住宅事業」など移住定住促進に向けた積極的な取り組みについて説明を受けました。



駒ヶ根市役所

《下伊那郡阿智村》

都会では体験できない自然体験や野外活動、学年を超えた仲間との共同生活を体験しながら地元の学校に通う「山村留学事業」について、スタッフとして関わっておられる議長より詳細な事業内容を伺いました。

《木曾郡木曾町》

周辺町村との合併を機に公共交通の確保を最重要課題として議論され、国の事業としての採択を受け、学識者を含めた検討委員会を設置し、計画立案を経て平成18年6月から運行を開始。市民の利便性の向上に向け、通院・通学・買い物の生活交通確保を最優先に検討委員会で協議し、取り組みを行い、民間事業者との信頼関係の構築が、事業の推進につながったとの説明を受けました。



木曾町での説明の様子



木曾町の新庁舎

いずれの自治体も人口減少と少子高齢化対策は喫緊の課題であり、委員からは活発な質問がされました。

校長会との懇談会

総務教育民生常任委員会

10月17日、議会との連携を強化し、市の教育の充実につなげることを目的とした総務教育民生常任委員会と下呂市校長会との意見交換会が行われました。

校長会ICT環境整備部会では、子どもたちの創造性を育む教育を実現するために、授業支援アプリの継続利用、家庭における端末の安全利用のための環境整備、保守予算確保と更新計画等、ICT充実のための施策や予算措置等の必要性について説明がありました。

CS・地域協働部会では、意味あるCS(コミュニティ・スクール)や地域協働を行うための施策や予算の確保に関して説明がありました。

学校関係予算部会では、有効な学校予算の運用、予算設計等について説明があり、いずれも重要な課題であり、互いに課題解決に向け、連携・強化することを確認しました。



校長会との懇談会(星雲会館にて)

市民と議会との意見交換会を開催

10月14日、金山町の下原公民館で金山町商工会と議会との意見交換会を開催しました。

商工会からは13名の参加があり、金山地域の抱える課題や課題解決に向けた取り組みなどを伺い、議会としても協力することを確認しました。

寄せられたご意見について紹介します。

★商工業の活性化

*地理的特徴から市外とのつながりが多く、市内での孤立感をどう解消したらよいか。

*ネット普及により税収が市外に流れる現状に対して、プレミアム商品券事業は非常に有効だった。

*企業誘致のための受け入れ体制の促進を図る必要がある。

*市内で娯楽・買い物ができる施設が必要であり、検討してほしい。

★商工会の強化体制

*補助員配置のための予算措置を継続的に検討できないか。

*商工会活動事業補助金の拡充と商工会運営補助金を継続してほしい。

*新しい取り組みを常に考えて活動しているので、有効活用できる補助金制度にしてほしい。

★その他

*陸門が閉まると、防災拠点の道の駅へ行くことができないため、市議会として対策への支援をお願いしたい。

*市の森林管理計画について、市民に関心をもってもらえるよう、市議会としても発信してほしい。

*金山町の事業所の生の声を聞いていただける機会となった。

*少しでも市民の声を聞いていただく機会は必要。

*地方「末端地域」に光が当たるような市政を期待する。

寄せられたご意見等は議会の中で共有します。コロナ禍ではありませんが、状況を見ながら今後も市民と議会がさまざまな意見を交換できる活動に取り組んでいきます。



市民と議会の意見交換会
下原公民館

3月定例会会期日程(予定)

3月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。
なお一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
2月24日	金	本会議(初日)	午前9時30分～
3月 9日	木	本会議(一般質問)	
10日	金	本会議(一般質問)	
13日	月	常任委員会	
14日	火	常任委員会	
15日	水	予算特別委員会	
16日	木	予算特別委員会	
17日	金	予算特別委員会	
20日	月	予算特別委員会	
24日	金	本会議(最終日)	

※日程は変更になる 場合もあります。 場所：本会議(下呂庁舎3階議場) 委員会(下呂庁舎3階第1会議室)

インターネットライブ配信

本会議および常任委員会(付託案件審査)は、動画共有サービス(Youtube)にてライブ配信を行います。

<https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtr-rJGKQ>
過去のライブ配信動画は、下呂市ホームページから視聴できます。



編 集 後 記

2月14日は皆さんにとってどんな日でしょうか？下呂の田の神祭り、友人・家族・自分の誕生日、でも1番に思い浮かぶのは「バレンタインデー」ではないでしょうか。私の学生時代は、女の子が好きな男の子にチョコレートを贈る日でした。チョコレートもらえる事などないのに朝からドキドキしたものでした。

現在は、女性から男性に贈るだけでなく自分自身へ、または知人・友人へと変わり、またチョコレートだけでなくいろいろな品物が贈られています。ここ数年での経済効果は1,200から1,300億円とも言われています。

このように多様化している「バレンタインデー」ですが、今だこの年齢になっても「ドキドキ感」は変わりませんね。(T.T)

下呂市議会だよりがスマホで読めます!!

インターネット上で無料閲覧できる、ギフイーブックスで配信中です。

